

戊申瀬池・米賣とその後……吉藤田 太

佐伯史談会発足二十周年……高水嘉吉

わがふるさとを大切にする……羽柴 弘

町木田独歩の足跡と……羽柴 弘

図書館と資料館……羽柴 弘

——文教都市としての前進を望む——

佐伯准治と二百井と天神准治法助賢一

佐伯准治の年令について……吉藤田 太

佐伯 下瀬の開墾史……青手洗一面

——まじりて中世の歴史——

佐伯と町木田独歩……山内武雄

想夫恋——平家物語「小昔」より……高木 嘉吉

四國霊場巡拝旅行の前後……清田 義雄

郷土史バカ六十年……安心彦 大隈米陽

古史家作 (藤原泰基)……日田 久保正茂

詩へ教習の士 網君顔 (別号梅木津吉)

わがふるさと。元田巻 (一) 市野巖 仁

(宮城の歴史と伝説)

(元田の共有地)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

(宮城の(元田)の歴史)

南朝の「宮」と佐伯地方……青手洗一面

思ひ出の会堂の物語……神野幸人

——おふるふるの味——佐伯の味——

(その二)……

(その三)……

(その四)……

(その五)……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

町木田独歩の足跡と……

早春の現地研修

一 新春初歩きで津久見市へ

二 一月廿八日 藤野から井崎へ

三 福田寺を訪る

百済の都扶余を太子として、古藤田太

盛夏 三重町の文化財探訪の紀

(遠征記) 長良貝塚の調査

一 三十年前の佐伯史談会

四国一周の旅 上 山田徳太郎

一 秋の聖場巡拝記

中国訪問記(第一回) 志藤田太

一 主として歴史的分野について

本道村推記(その一) 羽柴弘

一 古塔おれこれ

瀧江高山海岸 古田勝一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

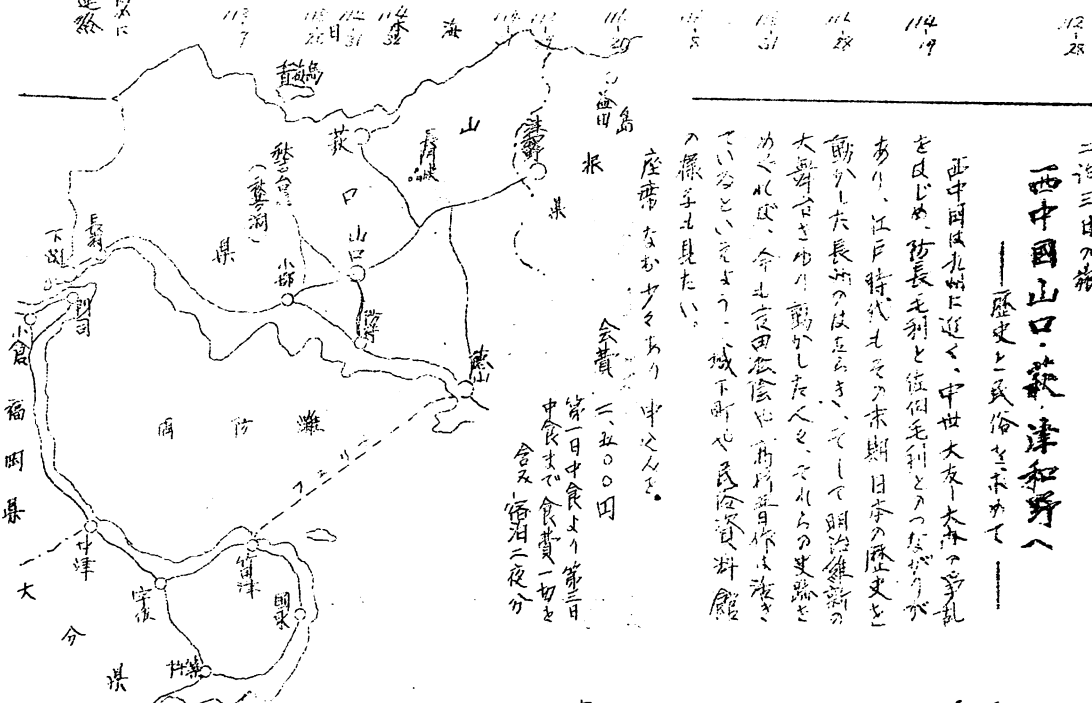
一 一

一 一

一 一

一 一

一 一



西中国山口・萩・津和野へ

一 歴史と民俗を求めて

西中国は九州に近く、中世大友・大内・毛利

を以て、防長毛利と佐伯毛利との争いが

あり、江戸時代もその末期日本の歴史を

動かした長州の足元を、そして明治維新の

大舞台となり動かした人々、それらの史跡を

めぐれば、今も古田松陰や高橋孫四郎は活々

といふやうに、城下町も民俗資料館

の標本も見たい。

座席をお少くあり申さん。

会費 二、五〇〇円

第一日中食より第三日

中食まで食費一切を

含む宿泊二夜分

期日 今秋十月十六日(朝六時 大寺前発)

廿七日

廿八日(夕方七時帰着)

乗物 大分バス(大型観光車)

募集人員 四十五名

探訪地(見学内容)

一 下関一宮・津和野一教一教台一徳山一

フニリー竹田津一のコースで

一 萩市萩神社(あまの日のたけのこ)

山口一豊公公園(松平詩舞)雪舟庭園

津和野一前並一民俗資料館一歴史博物館

萩一松下村家一乗光寺一高橋孫四郎神社

秋吉台一秋吉洞一秋吉台科信博物館

防府一防府天満宮一毛利邸

中の人 現在 会員費三十九名

尚数人の余裕あり、会員家族可

有直前共志なく中止あり、会員外参加

も苦さられる、申心金不要

電話 佐伯三一四四二へ申込下さい

尚折角おかけ下さる、旅行の事前学

習会を九月中旬文化会館で開きます

参加会員は行事前に二名取します

この旅行、見事に必要最低のものを

めいめい準備を心がけましよう。

山口県の地図・萩・津和野のハ

ンフレット、各地の観光案内

萩・津和野・毛利敬親・高橋孫四郎

の歴史など、前記事前高橋会に

お持ち下さい。

へ事務局より

右の五十三号 総目水 昨年度の歳入の初めに

つけない方のために別刷二枚枚あり、連絡

下されば差しあげます。(文字同送)